

一宮駅周辺地区ウォーカブル推進事業に係る対話型説明会

議事概要

1. 日時・場所

2024 年 8 月 27 日（火）14:00～16:00

一宮市役所本庁舎 11 階 1101 会議室

2. 出席者

参加者 41 名

（アドバイザー）株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役 西村 浩 氏

（ファシリテーター）錦二丁目エリアマネジメント株式会社 代表取締役 名畑 恵 氏

（事務局：市）一宮市まちづくり部都市計画課

3. 次第

（1）本日の説明会について

（2）一宮駅周辺地区ウォーカブル推進事業の目的や経緯について

（3）意見交換

4. 議事概要

- ・スライドに沿って目的や経緯についての説明を行った。
- ・ウォーカブル事業についての意見交換を行った。

5. 主な意見

（市民）

○デザインについて

- ・ハード面での整備は良いことだと思う。それよりもソフト面が大事で、本町通りにどれだけ魅力を作れるかを考えていかないと、銀座通りがきれいになっても効果がないので、そのような対応もしていく必要がある。
- ・千歳通り沿いで商売をしている立場としては、千歳通り分断のデメリットは非常に大きい。
- ・千歳通りの通行止めを行うと駅西に車が回って来るのではないか。そのあたりも検討してほしい。
- ・駅西から本町へ行く人が圧倒的に少なくなった。その点で言うと、駅西も含めたエリア全体でどのようにしていくとよいかを考えてほしい。
- ・現状で不便を感じていない。銀座通りは現在もお店が満員で困っていない。ただし、『ほこみち』のような取り組みは良いのではないかと考えている。

○エリアマネジメントについて

- ・担い手はそれぞれのお店が基本となるのではないか。飲食店が出始めているが、人が歩いていないため続かない。若い人が挑戦しやすいような仕組みややり方が必要と考える。
- ・各ブロックで小さくてもよいので、面白いお店や場所を作っていくことのほうが大事である。

(アドバイザー)

- ・専門家がデザイン案を提示したことにより、様々な意見をいただいたが、このとおりに計画が決まった訳ではない。また、沿道に住まわれている方や商売をされている方が、どうしたら暮らしが豊かになるのか、公共空間の在り方を議論し、いろんな意見をいただき進めていく。
- ・子育て世代や若い世代が暮らしたいまちをどう作るのが大事で、イベントなどの非日常より、いかに日常の暮らしを豊かにできるかが重要になる。
- ・駅前の地下に駐車場があることの価値は大きい。
- ・一宮駅周辺は銀座通り、本町通りともに商業地である以上、沿道のお店の売上が上がることは大事で、整備の有無に関わらず前の通りの積極的な活用を試していくことが重要となる。

6. まとめ

- ・ソフト面、ハード面ともに変わらないといけないという思いは共有できた。そこで、変えたいこと、変えたいもの、残したいこと、残したいものを明確にし、将来的な人口減少問題に一手を講じることや地域の経済循環の仕組みづくり、沿道のにぎわいを持たせること、地下駐車場の課題についてこれから皆さんと議論を進めていくことが大切である。
- ・市民とは誰かを広く考える必要がある。公共投資を行う事業となるため、沿道の商業者や居住者、一宮市内在住者全員、未来の一宮市に住む人など様々な市民にフォーカスを当て、より良いものを考えていく必要がある。
- ・未来のにぎわいある日常を作るために、意見書に重要な論点提起がされており、深く検討を行うことが非常に重要である。もうひとつは、オープンな会議で議論を重ね、社会実験を行ってその効果について確かめながら作り上げていく。
- ・まちの連続性と周辺への波及効果について、地下駐車場や銀座通り、本町通りの整備の方法やほこみち制度を活用するかどうか、ラウンドアバウトの今後の在り方に加え、緑化やグリーンインフラといった意見書に提起された事項についてのメリットやデメリットを分析し、それぞれを反映して次の議論や社会実験につなげていくことが重要である。